

平成 29 年度

上野学園大学 卒業時アンケート 報告書

1. はじめに

この「上野学園大学 卒業時アンケート」は、上野学園大学の卒業直後の卒業生を対象に、本学での学生生活がどのようなものであったかという、基礎的データを得ることを目的に行われた調査である。

2. 基本項目

日時 平成 30 年 3 月 17 日(土) 卒業式終了後
 場所 1507 講義室(卒業生控室)
 対象 音楽学部 4 年次生(卒業生)、音楽専攻科生(修了生)
 対象人数 音楽学部 65 名(男 7、女 58)、音楽専攻科 4 名(男 1、女 3)
 回収数 音楽学部 54 名(回収率 83%)、音楽専攻科 3 名(回収率 75%)
 用紙 A3 片面 1 枚
 方法 無記名式アンケート

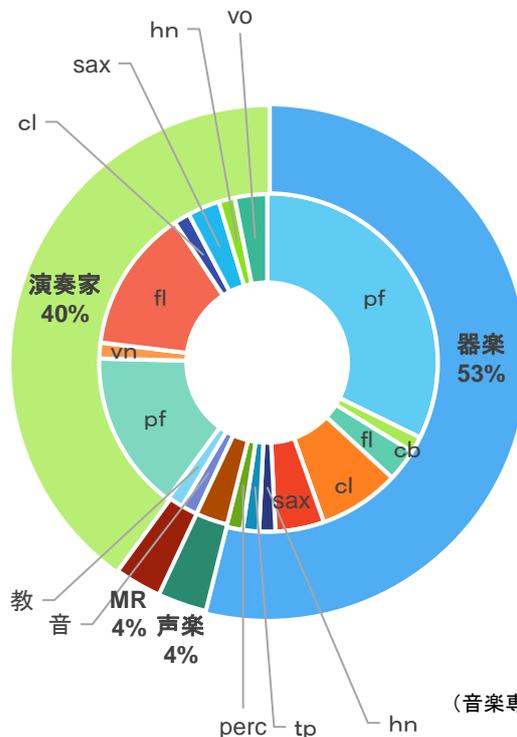
専門別の学生数と回収数 音楽学部

	器楽								声乐	MR		演奏家						
	pf	cb	fl	cl	sax	hn	tp	perc		音	教	pf	vn	fl	cl	sax	hn	vo
学生数	21	1	2	5	3	1	1	1	2	1	1	10	1	9	1	2	1	2
回収数	17	1	2	5	1	1	0	0	2	1	1	10	1	9	1	0	0	2
回収率 (%)	80	100	100	100	33	100	0	0	100	100	100	100	100	100	100	0	0	100

音楽専攻科

	器楽	声乐
学生数	3	1
回収数	2	1
回収率 (%)	66	100

学生の専門別割合



器楽コース	53%
pf	31%
cb	2%
fl	3%
cl	7%
sax	4%
hn	2%
tp	2%
perc	2%
声乐コース	4%
MRコース	4%
音楽学	2%
音楽教育	2%
演奏家コース	40%
pf	15%
vn	2%
fl	13%
cl	2%
sax	3%
hn	2%
vo	3%

(音楽専攻科: 器楽専攻75%、声乐専攻25%、音楽学専攻0%)

3. アンケート集計結果

I 教育

I-1 本学の教育内容や教育環境に対してどの程度満足しているか

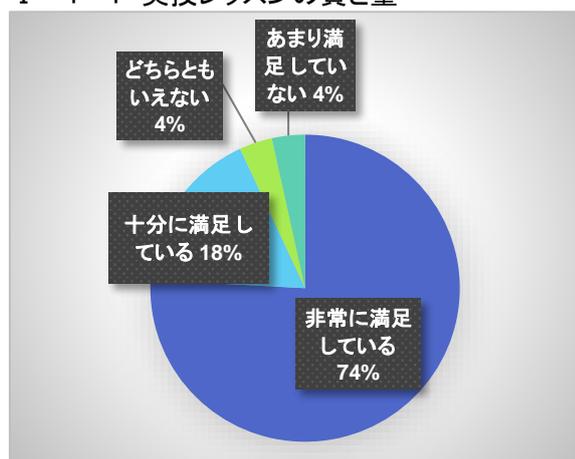
(人)

		非常に満足 している	十分に満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	全く満足 していない
1	実技レッスンの質と量	41	10	2	2	0
		74%	18%	4%	4%	0%
2	講義の質と量	15	23	14	3	0
		27%	42%	26%	5%	0%
3	進路と授業内容の結びつき	8	12	24	9	2
		14%	22%	44%	16%	4%
4	教員と話をする機会	23	18	12	1	1
		42%	32%	22%	2%	2%
5	学生同士の一体感	17	21	13	2	2
		31%	38%	23%	4%	4%
6	1つの授業を履修する学生数	17	21	15	2	0
		31%	38%	27%	4%	0%
7	学生生活に関わる相談体制	13	18	19	4	1
		24%	33%	34%	7%	2%
8	事務局の対応	12	17	16	7	3
		22%	31%	30%	12%	5%

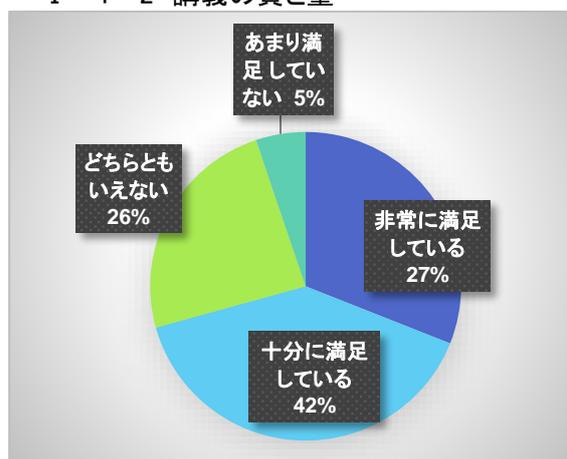
(音楽専攻科回答の内訳)

- 非常に満足している 100%
- 非常に満足している 100%
- 非常に満足している 67%、十分に満足している 33%

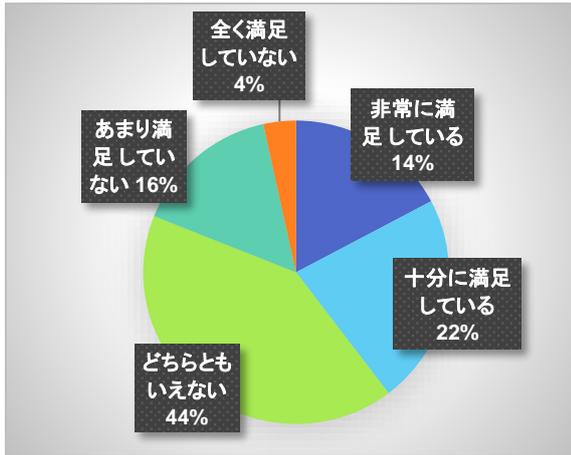
I-1-1 実技レッスンの質と量



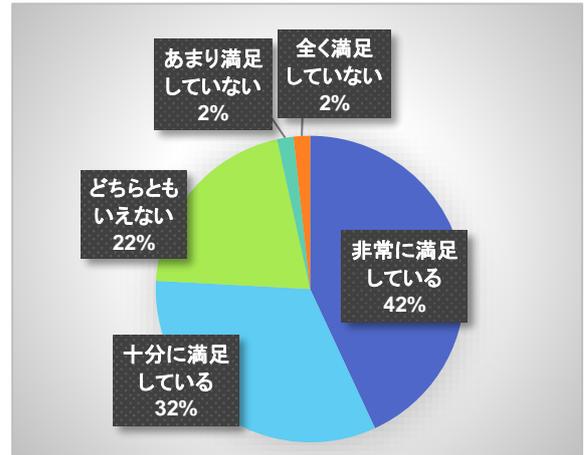
I-1-2 講義の質と量



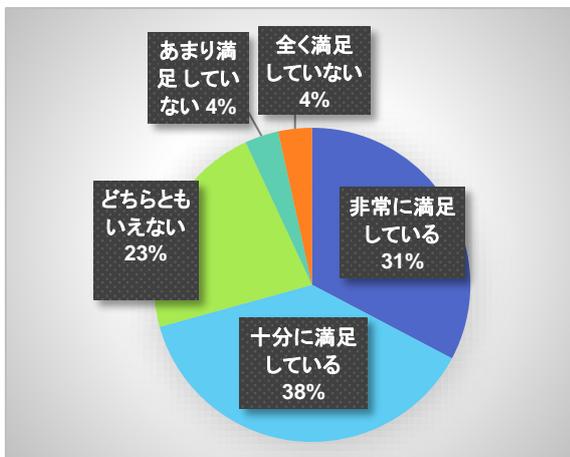
I-1-3 進路と授業内容の結びつき



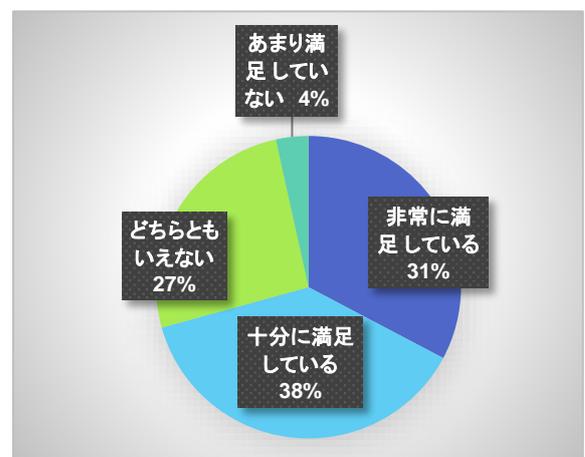
I-1-4 教員と話をする機会



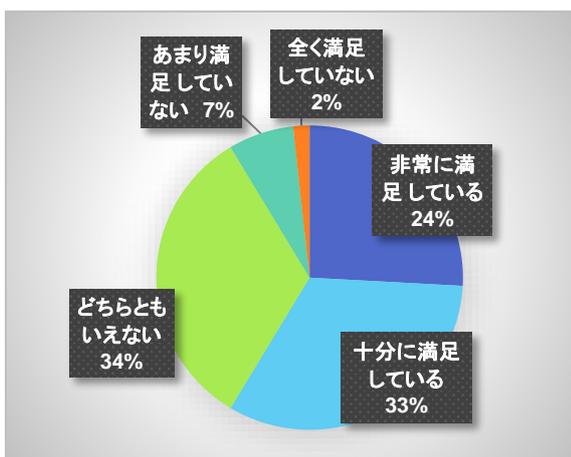
I-1-5 学生同士の一体感



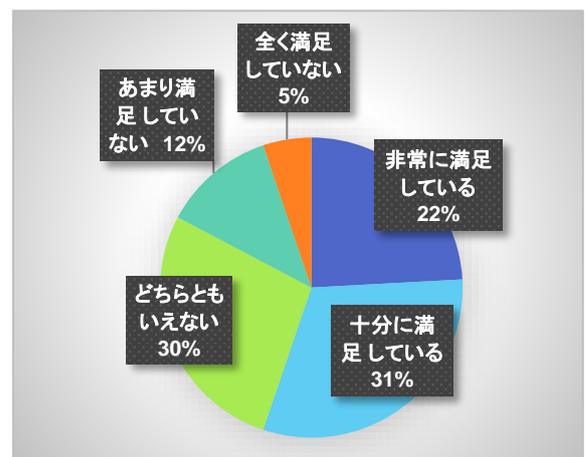
I-1-6 1つの授業を履修する学生数



I-1-7 学生生活に関わる相談体制



I-1-8 事務局の対応



I-2 本学の教育施設に対してどの程度満足しているか

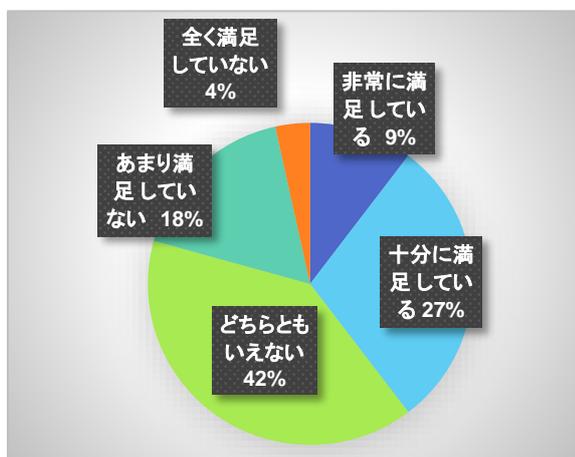
(人)

		非常に満足している	十分に満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	全く満足していない
1	練習や演奏のための設備	5	15	23	10	2
		9%	27%	42%	18%	4%
2	図書館の蔵書	13	20	16	6	0
		24%	36%	29%	11%	0%
3	食堂や自販機の設備	14	24	14	1	1
		26%	44%	26%	2%	2%
4	授業で必要となるような 機材・資料・活動設備	13	19	20	3	0
		24%	35%	36%	5%	0%

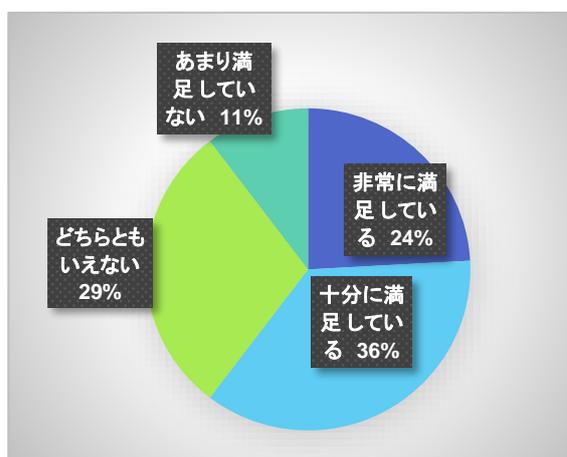
(音楽専攻科回答の内訳)

1. 非常に満足している 33%、十分に満足している 67%
2. 非常に満足している 33%、十分に満足している 33%、どちらともいえない 33%
3. 非常に満足している 33%、十分に満足している 33%、どちらともいえない 33%
4. 非常に満足している 33%、十分に満足している 67%

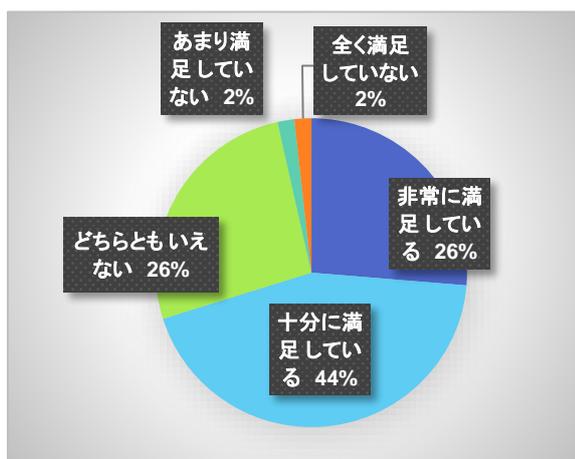
I-2-1 練習や演奏のための設備



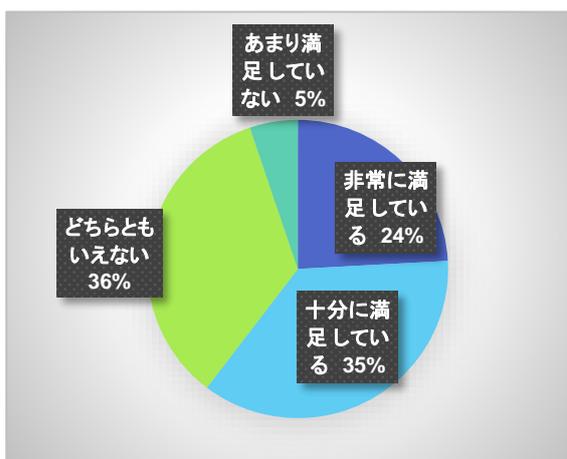
I-2-2 図書館の蔵書



I-2-3 食堂や自販機の設備



I-2-4 授業で必要となるような機材・資料・活動設備



I-2-5 その他、大学生活で必要だったと思う設備 [自由記述]

(件)

設備	件数
練習室	7
備品	4
食堂・休憩スペース	2

(音楽専攻科回答の内訳)

備品 1 件

II 進路

II-1 進路

[自由記述]

II-1-1 入学前もしくは入学時に考えていた進路

(人)

	進学、留学	就職 (一般企業)	就職 (音楽教室等)	演奏家、 音楽関係	教員	音楽療法士、 福祉関係	未定	無回答
人数	7	5	12	7	7	1	4	12
比率	13%	9%	22%	13%	13%	1%	7%	22%

(音楽専攻科回答の内訳)

就職(音楽教室等)33%、演奏家、音楽関係 33%、無回答 33%

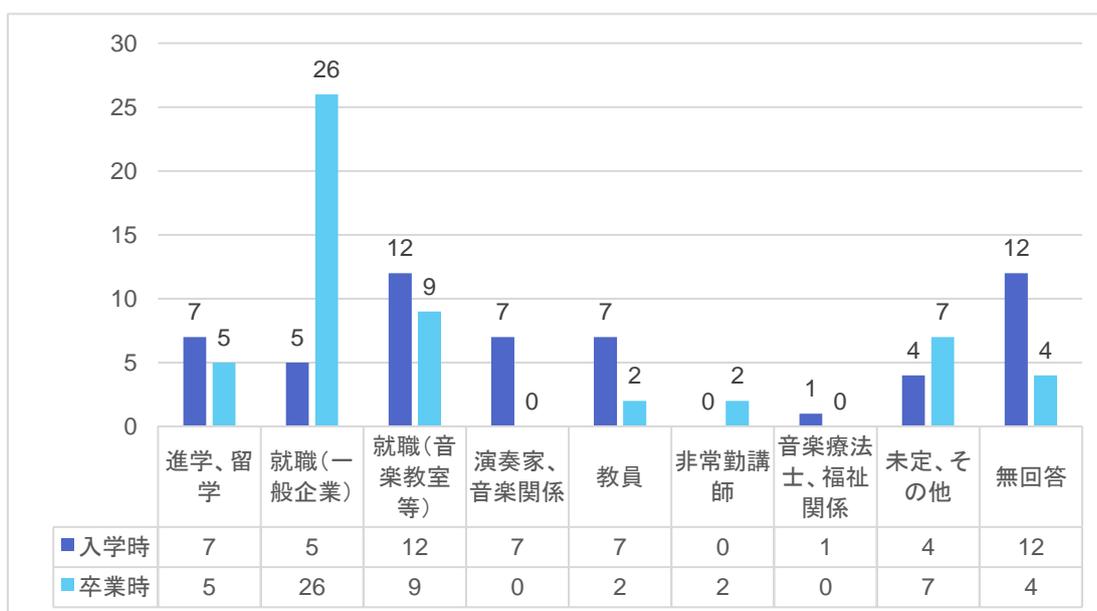
II-1-2 卒業時の進路

(人)

	進学、留学	就職 (一般企業)	就職 (音楽教室等)	教員	非常勤講師	就職活動中	未定 その他	無回答
人数	5	26	9	2	2	1	6	4
比率	9%	47%	16%	4%	4%	2%	11%	7%

(音楽専攻科回答の内訳)

就職(音楽教室等)67%、進学 33%



Ⅱ-1-3 卒業後の進路への満足度

(人)

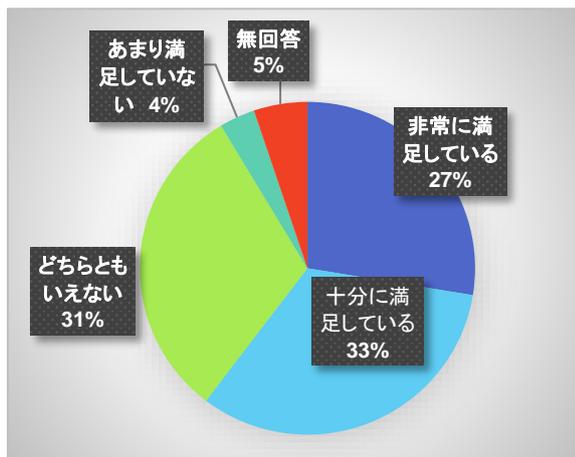
	非常に満足 している	十分に満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	全く満足 していない	無回答
人数	15	18	17	2	0	3
比率	27%	33%	31%	4%	0%	5%

(音楽専攻科回答の内訳)

非常に満足している 33%

十分に満足している 33%

どちらともいえない 33%



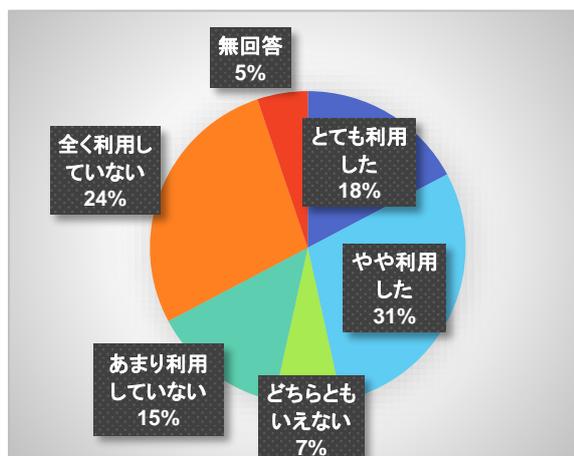
Ⅱ-1-4 就職活動でのキャリア支援センターの利用

(人)

	とても利用した	やや利用した	どちらとも いえない	あまり利用 していない	全く利用して いない	無回答
人数	10	17	4	8	13	3
比率	18%	31%	7%	15%	24%	5%

(音楽専攻科回答の内訳)

全く利用していない 100%

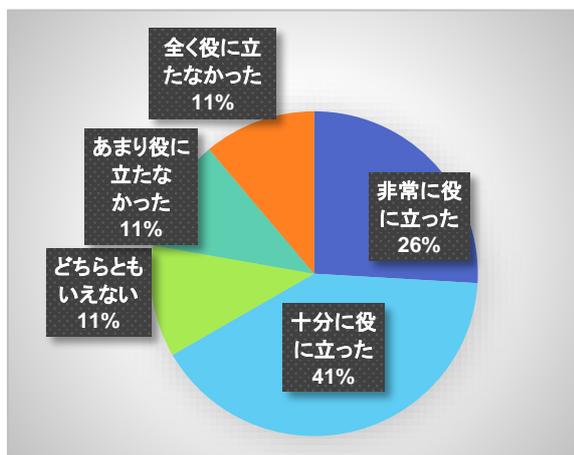


Ⅱ-1-5 就職ガイダンスや就職指導の有用性

[Ⅱ-1-4で「とても利用した」「やや利用した」と回答した者のみ]

(人)

	非常に役に 立った	十分に役に 立った	どちらとも いえない	あまり役に 立たなかった	全く役に 立たなかった
人数	7	11	3	3	3
比率	26%	41%	11%	11%	11%

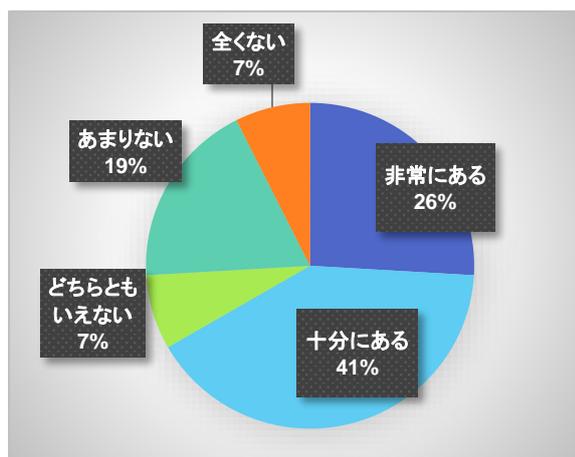


Ⅱ-1-6 キャリア支援センター利用前と利用後での就職に対する変化

[Ⅱ-1-4で「とても利用した」「やや利用した」と回答した者のみ]

(人)

	非常にある	十分にある	どちらとも いえない	あまりない	全くない
人数	7	11	2	5	2
比率	26%	41%	7%	19%	7%



Ⅲ 学生生活

Ⅲ-1 学生生活を通じてどのような能力がどの程度身についたか

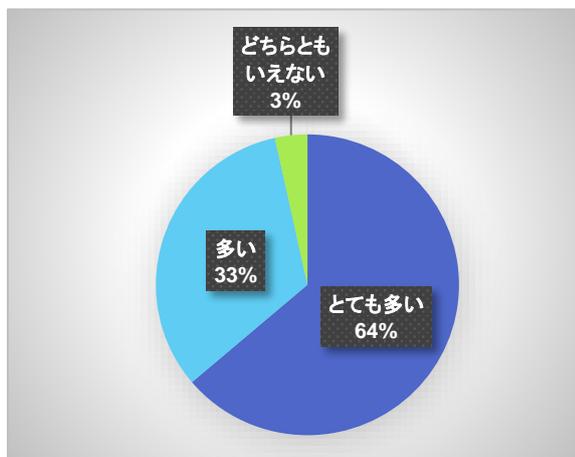
(人)

		とても多い	多い	どちらとも いえない	少ない	とても少ない
1	専門分野の知識や技術	35	18	2	0	0
		64%	33%	3%	0%	0%
2	一般的な教養	8	18	21	4	4
		15%	33%	38%	7%	7%
3	人間関係を構築する力	17	21	14	2	1
		31%	38%	26%	3%	2%
4	問題解決の力	14	23	17	1	0
		25%	42%	31%	2%	0%
5	コミュニケーションの力	18	24	13	0	0
		33%	44%	23%	0%	0%
6	プレゼンテーションの力	7	12	26	9	1
		13%	22%	47%	16%	2%
7	文章表現の力	6	16	25	5	3
		11%	29%	46%	9%	5%

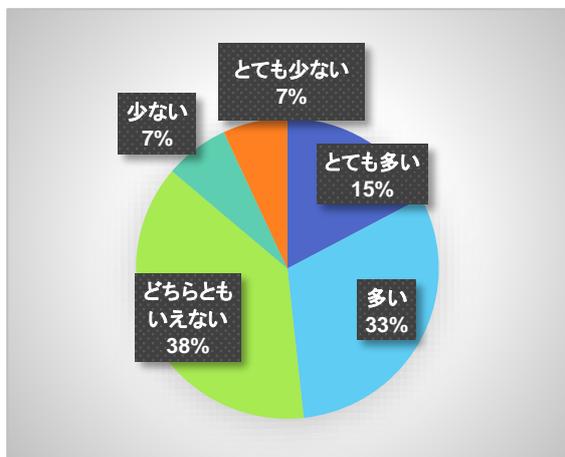
(音楽専攻科回答の内訳)

1. とても多い 67%、多い 33%
2. とても多い 67%、どちらともいえない 33%
3. とても多い 33%、多い 33%、どちらともいえない 33%
4. とても多い 33%、多い 33%、どちらともいえない 33%
5. とても多い 33%、多い 33%、どちらともいえない 33%
6. とても多い 33%、どちらともいえない 67%
7. とても多い 33%、多い 67%

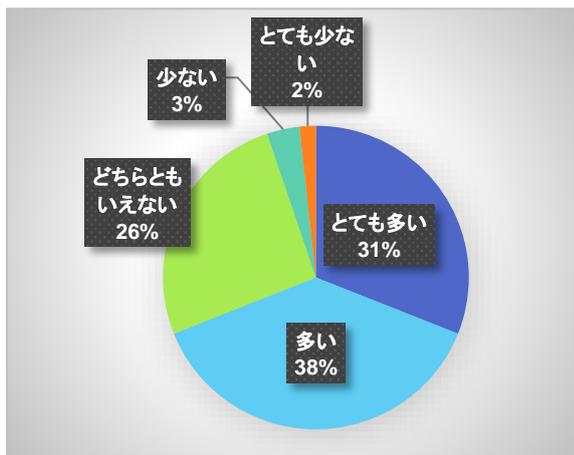
Ⅲ-1-1 専門分野の知識や技術



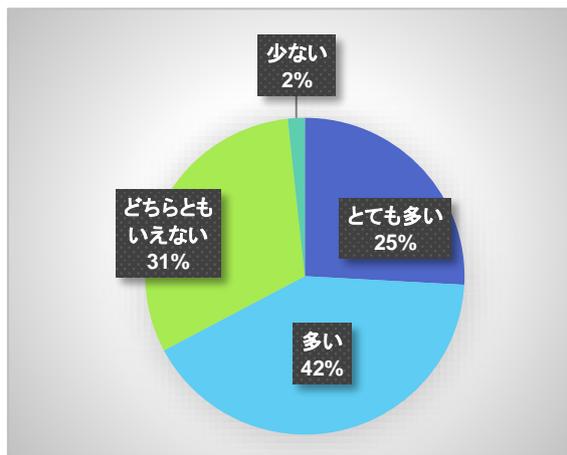
Ⅲ-1-2 一般的な教養



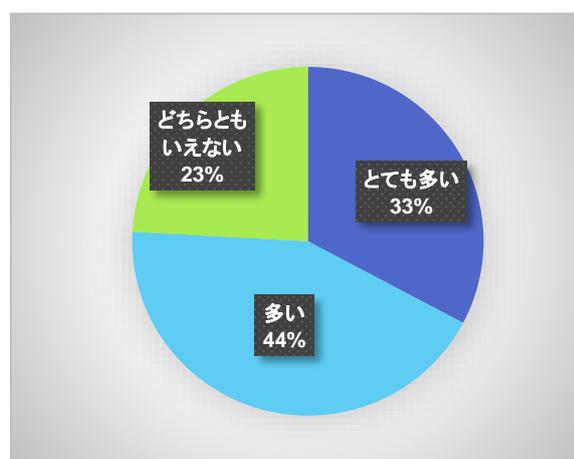
Ⅲ-1-3 人間関係を構築する力



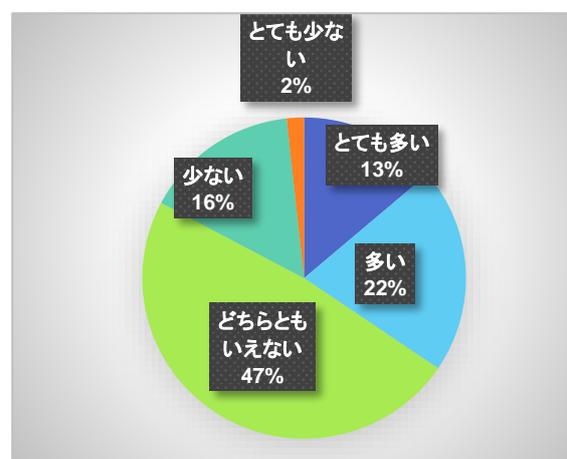
Ⅲ-1-4 問題解決の力



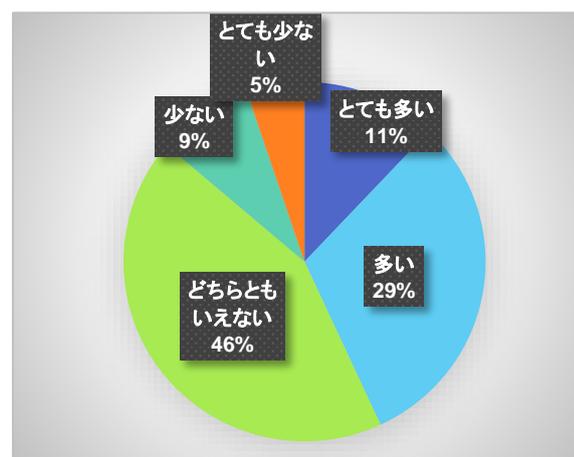
Ⅲ-1-5 コミュニケーションの力



Ⅲ-1-6 プレゼンテーションの力



Ⅲ-1-7 文章表現の力



Ⅲ-2 学生生活

Ⅲ-2-1 在学中に力を入れたこと [自由記述]

(件)

内容	件数
実技レッスン	14
演奏	7
練習	6
音楽・教養を深めること	3
コンクール等	2
語学	1
ボランティア活動	1
学友会活動	1
アルバイト	1

(音楽専攻科回答の内訳)

実技レッスン 3 件、音楽、教養を深めること 1 件

Ⅲ-2-2 一番興味をもった授業 [自由記述]

(件)

	内容	件数
実技系	実技レッスン	8
	アンサンブル	5
	オーケストラ	4
	オペラ演習	2
	合唱	1
講義系	ヨーロッパ文化論	5
	西洋音楽史	3
	音楽美学	3
	ソルフェージュ	2
	ピアノ教育法	2
	ファシリテーター概論	2
	演奏者のための心理学	2
	イタリア語	2
	指揮法	1
	作曲法	1
	鍵盤音楽史	1
	古楽概説	1
	音楽教育概論	1
	日本音楽史	1
	民族音楽学	1
	フランス語	1
	教職科目	1

Ⅲ-2-3 本学で学んだことを将来どのように活かそうと考えているか [自由記述]

(件)

内容	件数
指導に活かす	9
上野学園で学んだことを基に更に音楽を勉強する	6
授業で学んだことを演奏活動等に活かす	4
今後困難にぶつかっても立ち向かえるように	3
次の世代へ受けつぐ	1

(音楽専攻科回答の内訳)

指導に活かす 2 件

Ⅲ-2-4 本学に希望すること、意見等 [自由記述]

(件)

内容	件数
学内環境	5
練習室に関すること	5
授業に関すること	3
施設に関すること	2
キャリア支援に関すること	2
課外活動に関すること	1
その他	1

(音楽専攻科回答の内訳)

学内環境に関すること 1 件

Ⅲ-3 本学での 4 年間でどのようなものであったか

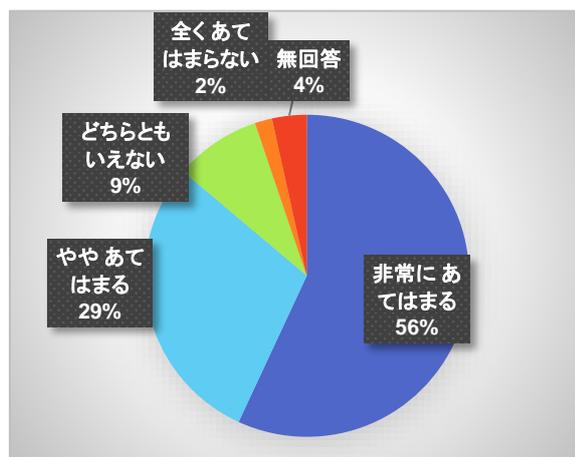
Ⅲ-3-1 本学に入学して良かった

(人)

	非常に あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	全くあて はまらない	無回答
人数	31	16	5	0	1	2
比率	56%	29%	9%	0%	2%	4%

(音楽専攻科回答の内訳)

非常にあてはまる 67%、ややあてはまる 33%



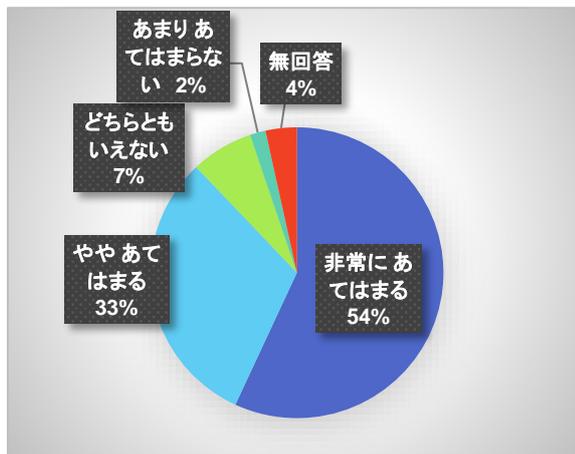
Ⅲ-3-2 本学での4年間は充実していた

(人)

	非常に あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	全くあて はまらない	無回答
人数	30	18	4	1	0	2
比率	54%	33%	7%	2%	0%	4%

(音楽専攻科回答の内訳)

非常にあてはまる 100%



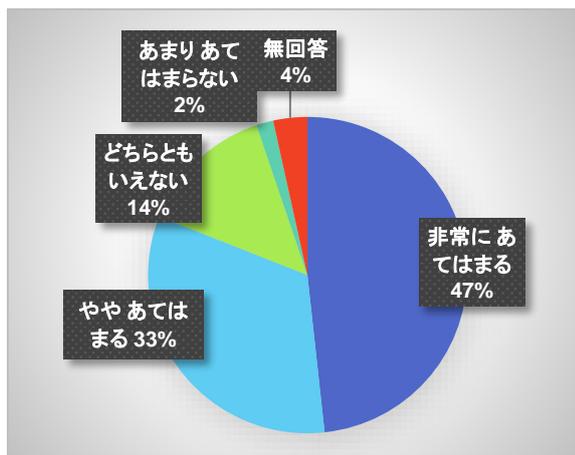
Ⅲ-3-3 本学で学んだことを誇りに思う

(人)

	非常に あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	全くあて はまらない	無回答
人数	26	18	8	1	0	2
比率	47%	33%	14%	2%	0%	4%

(音楽専攻科回答の内訳)

非常にあてはまる 67%、ややあてはまる 33%



4. 資料(アンケート用紙)

上野学園大学・同短期大学部 卒業時アンケート

2018年3月17日
IR推進委員会

ご卒業おめでとうございます。

このアンケートは、皆さんの学生生活がどのようなものであったか振り返るとともに、回答いただいた内容は今後の改善のために役立てたいと考えています。

ぜひ率直な意見をお聞かせください。

※該当するほうに記入してください。

大学4年次 () コース () 専門
短期大学部2年次 () 専門

【I-1】あなたは、本学の教育内容や教育環境に対してどの程度満足していますか。
それぞれ1つを選んで○をつけてください。

		非常に 満足している	十分に 満足している	どちらとも いえない	あまり 満足していない	全く 満足していない
1	実技レッスンの質と量	1	2	3	4	5
2	講義の質と量	1	2	3	4	5
3	進路と授業内容の結びつき	1	2	3	4	5
4	教員と話をする機会	1	2	3	4	5
5	学生同士の一体感	1	2	3	4	5
6	1つの授業を履修する学生数	1	2	3	4	5
7	学生生活に関わる相談体制	1	2	3	4	5
8	事務局の対応	1	2	3	4	5

【I-2】あなたは、本学の教育施設に対してどの程度満足していますか。
それぞれ1つを選んで○をつけてください。

		非常に 満足している	十分に 満足している	どちらとも いえない	あまり 満足していない	全く 満足していない
1	練習や演奏のための設備	1	2	3	4	5
2	図書館の蔵書	1	2	3	4	5
3	食堂や自販機の設備	1	2	3	4	5
4	授業で必要となるような機材・ 資料・活動設備	1	2	3	4	5
5	その他、大学生活で必要だったと思う設備があれば自由に記述ください。 ()					

【II-1】進路についてお聞きします。

1	あなたが入学前もしくは入学時に考えていた進路はどのようなものでしたか。 ()
2	実際の進路はどのようなものですか。 1. 就職 (一般企業・公務員・音楽教室等) : 就職先・稼働先 () 2. 進学 (大学・専門学校等) : 進学先 () 3. その他 (例 就職活動・アルバイト等) : () 4. 未定
3	卒業後の進路について満足していますか。1つを選んで○をつけてください。 1. 非常に満足している 2. 十分に満足している 3. どちらともいえない 4. あまり満足していない 5. 全く満足していない

4	就職活動でキャリア支援センターを利用しましたか。1つを選んで○をつけてください。 1. とても利用した 2. やや利用した 3. どちらともいえない 4. あまり利用していない 5. 全く利用していない
5	質問4で1「とても利用した」、2「やや利用した」を答えた方のみお答えください。 就職ガイダンスや就職指導は役に立ちましたか。 1. 非常に役に立った 2. 十分に役に立った 3. どちらともいえない 4. あまり役に立たなかった 5. 全く役に立たなかった
6	質問4で1「とても利用した」、2「やや利用した」を答えた方のみお答えください。 キャリア支援センター利用前と利用後で、就職活動並びに就職的の選定や募集側の選考に臨む姿勢に対する変化はありましたか。 1. 非常にある 2. 十分にある 3. どちらともいえない 4. あまりない 5. 全くない

【Ⅲ-1】あなたは、学生生活を通じて以下の能力がどの程度身についたと思いますか。それぞれ1つを選んで○をつけてください。

		とても多い	多い	どちらとも いえない	少ない	とても少ない
1	専門分野の知識や技術	1	2	3	4	5
2	一般的な教養	1	2	3	4	5
3	人間関係を構築する力	1	2	3	4	5
4	問題解決の力	1	2	3	4	5
5	コミュニケーションの力	1	2	3	4	5
6	プレゼンテーションの力	1	2	3	4	5
7	文章表現の力	1	2	3	4	5

【Ⅲ-2】あなたの学生生活についてお聞きします。自由に記述ください。

1	在学中に力を入れたことを教えてください。
2	一番興味をもった授業を教えてください。
3	本学で学んだことを将来どのように活かそうと考えていますか。
4	本学に希望すること、意見等ありましたら記述ください。

【Ⅲ-3】最後に、あなたにとって本学での4年間/2年間がどのようなものであったか教えてください。それぞれ1つを選んで○をつけてください。

		非常に あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	全く あてはまらない
1	本学に入学して良かった。	1	2	3	4	5
2	本学での4年間/2年間は充実していた。	1	2	3	4	5
3	本学で学んだことを誇りに思う。	1	2	3	4	5

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

5. まとめ

Ⅲ-3の諸項目への回答に見られるように本学に対する肯定的な評価は何れも80%を超えており、卒業生の本学に対する満足度はきわめて高いと言えよう。

自分の専門分野にしっかりと取り組んで充実した学生生活を送り(I-1-1)、その知識と技術を身につける(Ⅲ-1-1)と同時に、社会生活において必要なスキルを高め(Ⅲ-1-3, 4)、自分に相応しい進路を選択して社会へと旅立ってゆく学生の姿(Ⅱ-1-3)を見出すことが出来る。

一方、全般的に肯定的な評価が高い中で、練習や演奏のための設備(I-2-1)に対する満足度の低さが目を引く結果となっている。練習室が絶対的に不足する中、予約方法や運用の仕方を工夫する努力が続けられているが、さらなる改善が求められていると言えよう。

また、進路と授業内容の結びつきに対する評価が低い(I-1-3)一方で、キャリア支援センターの利用率も半分に満たない結果となっている(Ⅱ-1-4)。学生の進路支援については現在すでにキャリア支援委員会において全学的な取り組みを具体化しているところだが、その成果が現れることを期待したい。

前述のように専門分野での教育については高い満足度が示され、また到達度に対する自己評価も高い数値となっているが、「プレゼンテーションの力」と「文章表現の力」というアウトプットの能力への評価は今一つ物足りない結果となっている(Ⅲ-1-6, 7)。今後検討していかなければならない課題と言えよう。

2018年 8月31日

IR委員会